

たのしみ

2

February 2014

第718号
平成26年2月1日発行
(毎月1日発行)

[広報]

Public Relations SAMEGAWA

Special Feature - Beans
ま 豆 め



たのしみ
Public Relations SAMEGAWA

2

February 2014

平成26年2月1日発行 (毎月1日発行)
第718号 (発行27年9月創刊)

発行/福島県飯沼村 編集/飯沼村役場企画課
〒963-8401 福島県飯沼村大字赤坂中野字新築 39 番地 5



結婚しました

Happy File_08 Wedding

鈴木伸一さん 皆貴子さん

赤坂西野字藤平/平成25年4月結婚

- 奥様の出身地はどちらですか? ... 大阪府大阪市です。
- 2人が知り合ったきっかけは? ... お酒の席で知り合いました。お酒や食べ物のお好み合い、性格が似ていたせいか自然と親しくなりました。
- 出会ったときのお互いの第一印象は? ... (夫→妻) 特に印象はありませんでした。(妻→夫) 「この人と結婚するんだ」と思いました。
- 子どもは何人ほしいですか? ... 一人っ子よりは兄弟がいた方がいいと思うので、できれば2人ほしいです。「一姫二太郎」が理想です。
- 理想の家庭は? ... 家に帰ってくるのが楽しくなるような明るい家庭をつくりたいです。家族でキャンプや旅行をしたいです。

こちら 村長室

▼同級生は一生の宝物です。元日は四十二厄払い同級会、二日は三十三厄払い同級会、十一日は還暦祝同級会にお招きをいただき、お祝いの言葉を述べる機会がありました。人生の節目となるこれらの行事は、大変意義のあるものだと思います。久しぶりの再会に思い出話に花が咲き、また、友人のいろいろな人生に触れ、同級生同士が切磋琢磨する中で大いに元気をもらい勇気づけられる機会です。▼初老の会での中学時代恩師の話です。四十五歳で退職し、夢であった国際協力の舞台でジャイカルのシニア海外ボランティアとして南米二カ国に合わせて五年間、現地教育関係者の支援活動に従事したこと、想像以上に充実したときを過ごして、今も国際協力分野で活動していることでした。▼私たちの誰もが人生の節目に一度立ち止まり、再出発のごく目指す方向性をはっきりさせることで、活気に満ち充実した人生が送れるはずとお話には、学ぶものがありました。

大樂勝弘